

三菱自動車、自動車リサイクル法に基づく 2023 年度の再資源化等の実施状況を公表

三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼最高経営責任者：加藤隆雄、以下三菱自動車）は、自動車リサイクル法に基づき、2023 年度における自動車シュレッダーダスト（ASR：Automobile Shredder Residue）、エアバッグ類、フロン類の特定 3 品目の再資源化等の実施状況を公表しました。

2023 年度の実施状況の概要としては、ASR の引き取り量は 139,642 台分（20,797 トン）で、20,079 トンを再資源化した結果、再資源化率は 96.5%となり、法定基準値（70%）を達成しました。

エアバッグ類は 108,254 台分（422,252 個）を引き取り、再資源化率は 97.0%で、法定基準値（85%）を達成しました。フロン類の引き取り量は 119,841 台分（23,411kg）となり、適正に処理しました。

また、これら特定 3 品目の再資源化等に要した費用総額は 1,323,154,992 円で、資金管理法人（公益財団法人 自動車リサイクル促進センター）から払い渡しを受けた預託金総額は 1,365,650,407 円、全体収支は 42,495,415 円の黒字となりました。また、2023 年度は 2022 年度の黒字額 34,726,005 円のうち、22,571,904 円を公益財団法人 自動車リサイクル高度化財団^{*1}へ拠出しました。

なお、今後の新型車についても、再資源化処理コストの低減を継続し、お客様のリサイクル料金負担の更なる低減を図っていきます。

三菱自動車は、自動車リサイクル法に定められた使用済自動車処理の、確実かつ効率的な実施に向けて、引き続き取り組んでいきます。

^{*1}：自動車リサイクルの高度化等に関する学術的・実践的調査、研究、ならびに資源の有効活用や環境保護等に関する研究等への助成及び事業を行う公益財団法人

【2023 年度 特定 3 品目の再資源化等の実施状況】

1. 対象期間

2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

2. 再資源化を実施すべき量に関する基準の遵守状況

	実績値および計算式	基準値
ASR 再資源化率	96.5% 下記 3. の ([a] + [b]) / ([A] + [B])	70%以上（2015 年度以降）
エアバッグ類 再資源化率	97.0% 下記 3. の [D] / [C]	85%以上

3. 再資源化の状況

(1)ASR

項目	記号/計算式	重量	台数
引取り総重量及び使用済み自動車総台数	【A】 + 【B】	20,797 (t)	139,642 (台)
ASR 引取り総重量及び ASR 引取り使用済み自動車台数	【A】	19,703 (t)	132,221 (台)
ASR リサイクル施設 ² での再資源化重量	【a】 =①-②	18,996 (t)	
ASR リサイクル施設への投入 ASR 総重量	①	19,703(t)	
ASR リサイクル施設で生じた使用済み自動車の廃棄物総重量 ³	②	707(t)	
委託全部再資源化 ⁴ で引渡した ASR 重量及び使用済み自動車台数	【B】	1,094 (t)	7,421 (台)
委託全部再資源化での再資源化重量	【b】 =③-④	1,083 (t)	
委託全部利用した ASR 総重量	③	1,094 (t)	
委託全部利用で生じた使用済み自動車の廃棄物重量 ⁵	④	11 (t)	

※2：ASR リサイクル施設とは、自動車リサイクル法第 28 条で主務大臣の認定を取得した ASR 指定引取り場所のうち、施行規則第 26 条に定める基準に適合した施設（「基準適合施設」）を示す。

※3：ASR をリサイクルすることによって生じるスラグや飛灰等のうち、販売や処理されないで施設に残った、もしくは埋立処分された廃棄物の総重量。

※4：委託全部再資源化とは、自動車リサイクル法第 31 条で主務大臣の認定を取得した、全部再資源化業務委託先（解体事業者、プレス・せん断処理業者）と委託全部利用者（国内の電炉・転炉等）で、ASR を生じさせないで使用済み自動車を再資源化する仕組み。

※5：委託全部利用者で鉄鋼製品を生産する際に生じるスラグや飛灰等のうち、販売や処理されないで施設に残った、もしくは埋立処分された廃棄物の総重量。

(2)エアバッグ類・フロン類

・エアバッグ類（エアバッグ、シートベルトプリテンショナー）

項 目	個 数	台 数
引き取ったエアバッグ類の総個数及び引取総台数	422,252 (個)	108,254 (台)
取外回収個数及び台数	75,683 (個)	20,261 (台)
車上作動個数及び台数	346,569 (個)	86,775 (台)
一部取外回収/一部車上作動台数	—	1,218 (台)
再資源化重量	記号	重 量
再資源化施設の引取重量	【C】	49,617 (kg)
再資源化重量	【D】	48,115 (kg)

・フロン類

項 目	重 量	台 数
フロン類引取総重量と引取総台数	23,441 (kg)	119,841 (台)
CFC 引取重量と引取台数	75 (kg)	412 (台)
HFC 引取重量と引取台数	23,336 (kg)	119,429 (台)

4. 資金管理法から払い渡しを受けた預託金及び再資源化等に要した費用

[単位：円]

品 目	払い渡しを受けた預託金	再資源化等に要した費用	収 支
ASR	780,004,455	780,982,667	△978,232
エアバッグ類	297,158,366	288,606,707	8,551,659
フロン類	288,487,586	253,565,598	34,921,988
(合計)	1,365,650,407		【E】 42,495,415
	内 預託金		
	金利分	177,554,867	
		1,323,154,992	
		内 社内費用(人件費)	6,410,674
		内 社内費用(システム費)	79,383,446

(参考 1) 2023 年度リサイクル収支から拋出の費用

[単位：円]

公益財団法人 自動車リサイクル 高度化財団への拋出	22,571,904	
合計	【F】 22,571,904	-
拋出後の収支 【E】 - 【F】		【G】 19,923,511

(参考 2) 再資源化等の運営に要した当社負担金とリサイクル全体収支

[単位：円]

自動車リサイクル促進センターの運営関連費用	42,326,867	-
ASR リサイクル関連費用	22,878,190	-
合計	【H】 65,205,057	-
メーカーとしてのリサイクル全体収支 【G】 - 【H】		△ 45,281,546

◎主な車種のリサイクル料金などについては、以下の三菱自動車ホームページに掲載しています。

<https://www.mitsubishi-motors.com/jp/sustainability/environment/recyclelow/result.html>

以上